

Europe Indicators

発表日:2021年2月24日(水)

欧州経済指標コメント:2月ドイツIfo企業景況感

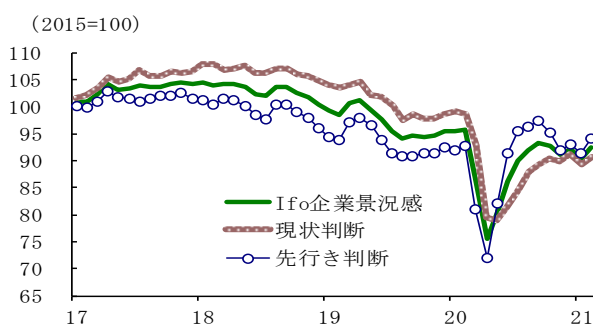
～二段速経済～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

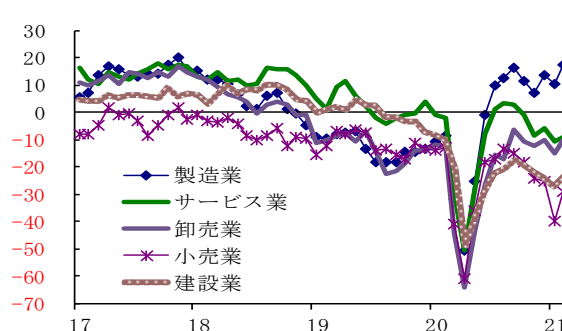
- 22日発表の2月のドイツのIfo企業景況感(2015年=100の指数)は、年明け後の都市封鎖の延長強化で悪化した前月から切り返した。内訳は現状判断・先行き判断がともに前月の落ち込みから改善。なかでも先行き判断が大きく持ち直し、ヘッドライン計数の改善を牽引した。
- 業種別の業況判断(ゼロが好不況の分岐点)は、製造業(前月:+9.1→今月:+16.1)のプラス幅が拡大、サービス業(▲4.4→▲2.2)、卸売業(▲3.9→▲1.5)、小売業(▲34.0→▲31.5)、建設業(▲4.9→▲3.6)のマイナス幅が揃って縮小し、何れも全体を押し上げた。現状判断は、製造業(+8.0→+14.5)、サービス業(+2.1→+4.6)の改善ペースが加速した一方、卸売業(+7.8→+7.3)、建設業(+19.9→+18.5)の改善ペースが鈍化し、小売業(▲28.1→▲34.0)の悪化ペースが加速した。先行き判断は全業種が前月に比べて改善したが、なかでも製造業(+10.3→+17.6)の改善が著しく、昨年9月の今次回復局面のピークを上回った。
- 都市封鎖の影響が大きい非製造業の不振が続くなか、米中景気の回復期待を反映して製造業が業況改善を牽引する姿は、既報のPMIなどで示された通り。ドイツの新規感染者や死者は年明け以降、ピークアウトしているものの、なお高止まりしている。政府は3月7日まで都市封鎖を延長することを決定。さらなる業況改善は、英国に比べて遅れるワクチン接種の進捗が左右する。

■ドイツ:Ifo企業景況感



出所:Ifo

■ドイツ:業種別の先行きの業況判断



出所:Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2020				2021								
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021 1月	2月
企業景況感(総合)	92.6	80.8	91.7	92.0	86.2	89.9	92.0	93.2	92.7	91.0	92.2	90.3	92.4
現状指数	96.9	79.9	87.3	90.6	81.4	84.6	88.0	89.2	90.4	90.0	91.3	89.2	90.6
先行き指数	88.6	81.8	96.4	93.3	91.3	95.5	96.3	97.3	95.1	91.9	93.0	91.5	94.2
業況判断													
製造業	2.5	-23.4	0.4	1.0	-11.5	-3.5	1.2	3.6	2.7	-1.2	1.5	-2.5	1.9
サービス業	9.5	-19.6	5.3	0.2	-6.0	1.7	7.2	6.9	4.0	-3.0	-0.3	-4.4	-2.2
卸売業	-6.2	-32.1	-6.6	-0.4	-18.6	-9.1	-9.5	-1.3	-1.8	-2.5	3.0	-3.9	-1.5
小売業	-5.4	-28.2	1.1	-3.0	-6.5	-0.5	1.7	2.2	1.8	-6.2	-4.6	-34.0	-31.5
建設業	10.6	-11.6	0.3	-0.5	-6.5	-2.1	-0.2	3.2	0.0	-0.7	-0.8	-4.9	-3.6

出所:Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

